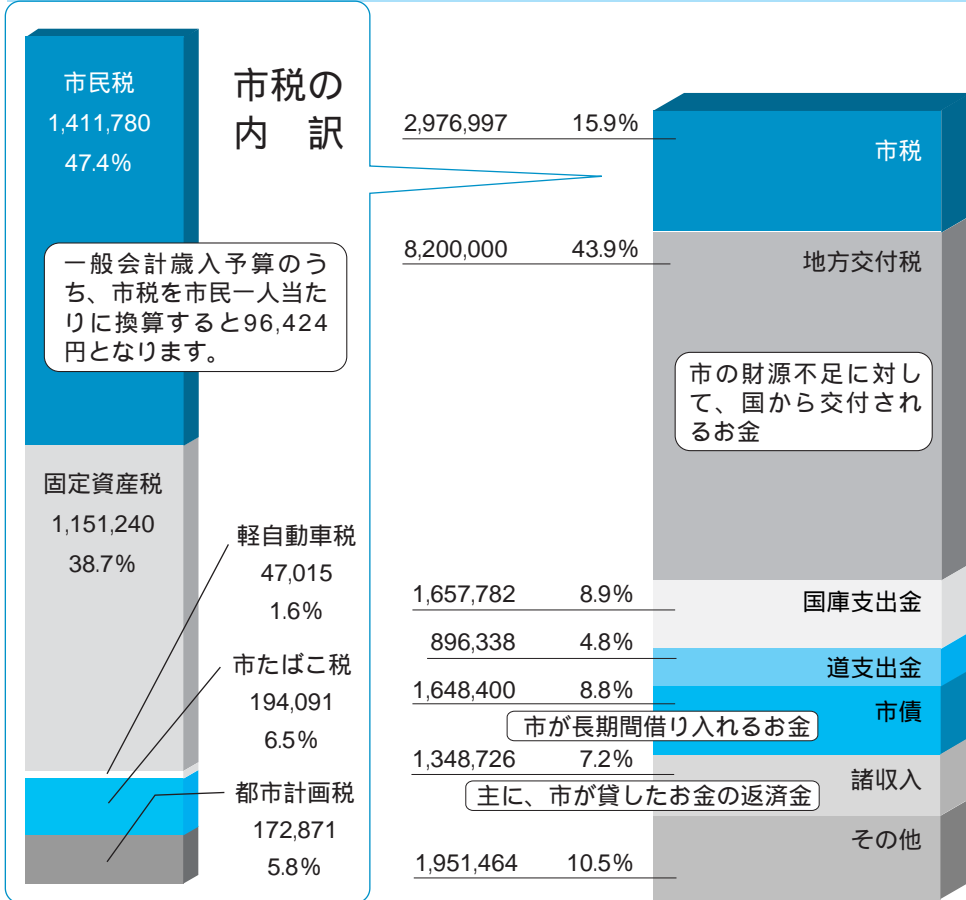




平成22年度予算特集

協働のまちづくりを基本に、  
新名寄市総合計画を着実に実行

186億7,970万7千円



一般会計歳入予算のうち、市税を市民一人当たり換算すると96,424円となります。

市の財源不足に対して、国から交付されるお金

市が長期間借り入れるお金

主に、市が貸したお金の返済金

一般会計歳入と市税の内訳

(単位：千円)

各会計予算総括表

区分	予算額	
一般会計	186億7,970万7千円	
特別会計	国民健康保険【保険事業】	32億8,783万円
	国民健康保険【直診】	4億9,987万7千円
	老人保健事業	110万8千円
	介護保険【保険事業】	19億237万円
	介護保険【サービス事業・名寄】	2億1,659万2千円
	介護保険【サービス事業・風連】	1億2,000万9千円
	下水道事業	11億9,438万円
	個別排水処理施設整備事業	7,910万6千円
	簡易水道事業	4,269万6千円
	公設地方卸売市場	3,636万7千円
	食肉センター事業	251万2千円
	後期高齢者医療	3億371万4千円
小計	76億8,656万1千円	
一般会計 + 特別会計	263億6,626万8千円	
企業会計	病院事業会計	90億9,443万1千円
	水道事業会計	10億8,882万6千円
総計	365億4,952万5千円	
風連特例区予算	5,297万7千円	

平成22年度は、任期満了に伴う名寄市長選挙が4月に行われることから、1年間の行政活動経費を全て計上する通常予算ではなく「骨格予算」として編成しました。義務的経費や既存施設の維持管理費などを中心に計上しましたが、市民の皆さんとの協働のまちづくりを基本に、継続事業を中心に、新名寄市総合計画にある126本の事業を含めた合計281本の事業を盛り込むことで、地元経済や雇用の安定など、市民生活にも配慮しました。新規事業などの政策的な予算については、次の議会で補正予算として計上されることとなります。新年度予算の概要と主な事業をお知らせします。

## 市民一人当たりの歳出額 (一般会計目的別歳出)

一般会計歳出予算を市民一人あたりに換算すると、60万5,030円(平成22年1月末日現在の住民基本台帳人口3万874人による)になります。

目的別にすると主なものは次のとおり。



民生費 122,359円

衛生費 86,484円



教育費 78,636円

土木費 45,898円



農林業費 26,526円

商工費 24,341円



公債費 86,935円

公債費とは、市の借入金返済のために使われるお金で、一般会計歳出予算全体の14.4%を占めています。

## 一般会計予算総額

議会費	162,592	0.9%
総務費	781,244	4.2%
民生費	3,777,703	20.2%
衛生費	2,670,103	14.3%
労働費	56,844	0.3%
農林業費	818,962	4.4%
商工費	751,500	4.0%
土木費	1,417,040	7.5%
消防費	721,229	3.9%
教育費	2,427,797	13.0%
公債費	2,684,044	14.4%
職員費	2,398,644	12.8%
その他	15,005	0.1%

## 一般会計目的別歳出 (単位：千円)

2,258,268	普通建設事業費	1,717,108					
12.1%	1,345,076	9.2%					
その他	繰出金	補助費等	物件費	7.2%	公債費	扶助費	人件費
1,699,547	2,729,906	2,117,735	2,683,844		4,128,423		
9.1%	14.6%	11.3%	14.4%		22.1%		

## 一般会計性質別歳出 (単位：千円)

### 一般会計とは

市の財政は一般会計、特別会計、企業会計からなっており、土木費や教育費など行政運営の基本となる会計のことをいいます。

### 特別会計とは

特定の事業やサービスを提供するために、利用者からの保険料や使用料などを財源として事業を運営するために設けられた会計のことをいいます。

### 企業会計とは

自ら事業を行い、その事業で得た財源で運営する、民間企業と同様の経理をする会計のことをいいます。



# 平成22年度の主な事業をお知らせします

事業費は千円単位で四捨五入

多くの市民が手作りで策定した新総合計画を具現化するために、多くの事業を盛り込み、地域経済と雇用にも配慮した新年度の予算について、総合計画で示されたまちづくりの基本方向ごとに分類して、主な事業をお知らせします。

## 市民と行政との協働によるまちづくり

市民自治、地域主権の理念のもと、市民と行政が協働する地域自治組織を創設し、自立するまちを目指します。



(市民参画・健全財政)

<p>町内会活動支援事業 【1240万円】 町内会自治活動交付金として、1190万円、町内会連合会に対する補助金50万円など。</p>	<p>広域行政推進事業 【143万円】 広域行政を推進するための、各種期成会、協議会に対する負担金など。</p>	<p>男女共同参画推進事業 【40万円】 男女共同参画推進計画・実施計画の実践に取り組む経費です。</p>	<p>総合計画推進事業 【25万円】 総合計画推進市民委員会報酬など総合計画の推進に取り組む経費です。</p>
---	--	---	---

安心して健やかに暮らせるまちづくり  
人と人が支え合い、健やかに暮らすことができ、一人ひとりが生涯輝いていられるまちを目指します。



(保健・医療・福祉)

命のカプセル設置事業  
【54万円】 新規事業  
単身の高齢者及び高齢夫婦世帯などに対して「救急医療情報キット」を設置することにより、救急などの際、高齢者などの安全確保を速やかに行うことができます。対象は1500世帯。

<p>風連国保診療所及び総合支 援施設取得 【3億6258万円】 風連地区市街地再開発事業の中で、風連国保診療所及び総合支援施設を取得（公有財産の購入）します。床面積は1階国保診療所668・36㎡、2階総合支援施設502・32㎡、3階倉庫92・09㎡の合計1262・77㎡。</p>	<p>《子育て支援の推進関連予算》 子育て支援センター運営事業 1344万円、子ども手当(対象予定者数2312人/月)3億56万円、児童扶養手当1億4121万円、乳幼児医療給付事業4879万円、保育所運営事業2億7154万円、認定子ども園運営事業6704万円など。</p>	<p>病院医療機器整備事業 【6億1000万円】 保健・医療サービスの推進のために、市立総合病院のオーダーリングシステム、電子カルテなどの医療機器を整備します。</p>
---	--	--

自然と環境にやさしく  
快適で安全なまちづくり



(生活環境・都市基盤)

豊かな緑を大切に、自然と調和した快適な生活環境を確保し、未来へとつなぐまちを目指します。

消防施設等整備事業  
【1億230万円】  
消防通信指令台の更新、消防サイレン制御装置導入、非常用自家発電設備新設など、消防施設の整備を図り、市民の安全安心を確保します。

風連地区市街地再開発事業  
【1億3603万円】  
風連地区第1種市街地再開発事業補助金。  
平成19〜22年度までの概算総事業費24億3000万円

《市営住宅整備事業》  
北斗・新北斗団地建替事業  
【1億8201万円】  
快適な生活環境の充実のために、名寄地区北斗・新北斗団地の建替を進めています。  
《市営住宅管理業務》  
【4047万円】  
市内にある市営住宅989戸を管理するため経費です。(名寄地区664戸、風連地区325戸)

消費者行政等推進事業  
【459万円】  
消費生活の安定のための、消費生活相談員経費や消費者協会への補助金など。



《道路整備継続事業》  
19線道路舗装新設事業  
【1億3217万円】  
路盤工・舗装工 250m、橋りよう新設  
豊栄西10条仲通改良舗装事業  
【2008万円】  
路盤工・舗装工 100m  
南2丁目通踏切拡幅改良事業  
【8704万円】  
路盤工・舗装工 49m、用地取得  
徳田しらかば1号通道路改良舗装事業  
【5506万円】  
路盤工 285m、舗装工 444m  
緑丘通道路改良舗装事業  
【5705万円】  
路盤工・舗装工 170m

《除排雪関連の予算》  
市道除雪事業(名寄地区、車道300km、歩道37km)1億560万円、市道除雪事業(風連地区、車道156km、歩道21km)4248万円、市道排雪事業(名寄地区、委託延長96km)1億1730万円、市道排雪事業(風連地区、委託延長18km)1260万円

橋梁長寿命化計画策定事業  
【300万円】  
橋りよう点検、橋りよう台帳整備。対象25橋  
バリアフリーに優れたまちづくり事業  
【500万円】  
舗装補修、排水補修、歩道段差解消などを行って暮らしやすいまちづくりを目指します。

公共下水道整備事業  
【2億3000万円】  
終末処理場の加湿ボイラー設備を更新します。

《総合交通体系事業》  
東西バス路線運行事業  
【298万円】  
地方バス路線運行補助事業  
【1716万円】

創造力と活力にあふれたまちづくり

地域の特性を生かしながら産業間連携を進め、自立的に発展する活力あるまちを目指します。



(産業振興)

冷湿害等営農支援事業  
 利子補給補助金  
**【92万円】 新規事業**  
 平成21年度の冷湿害等による農畜産物の減収に対して行う農業者への貸付資金について、市が1・5%の利子補給を行い、未端の金利0%にします。対象農業者28件、利子補給期間、平成22年度～平成26年度

(仮称)複合交通センター整備事業  
**【508万円】 新規事業**

平成21年度から進めている名寄地区都市再生整備計画のうち、(仮称)複合交通センターを建設する際の用地確定及び補償物件の鑑定を行う委託料など。実際の用地取得と補償などの予算はこれからになります。

《緊急雇用創出推進関連予算》  
**【2909万円】**

倒壊家屋処理業務750万円、農地生産環境整備事業1366万円、環境保全景観向上事業342万円、地域防災ネットワーク構築業務452万円

中山間地域等直接支払制度交付金  
**【1億1019万円】**

将来にわたる持続的農業活動と、農業・農村の持つ多面的機能が発揮できる有効な取り組みのために、各地域の集落協定を尊重し、集落と連携しながら事業を推進します。

心豊かな人と文化を育むまちづくり

生涯学習活動や文化活動を充実させ、名寄市立大学を活かした個性あふれるまちを目指します。



(教育・文化・スポーツ)

風連中学校整備事業  
**【1億1449万円】 新規事業**

旧風連高校の校舎・屋根改修工事8800万円、グラウンド整備・外構工事1800万円、教育用パソコン移設849万円など。また、公宅取得と備品整備などの予算はこれからになります。

ふつれん地域交流センター運営事業  
**【2196万円】 新規事業**

4月に開館するふつれん地域交流センターの運営経費190万円、維持管理経費2006万円。

放課後児童クラブ設置事業  
**【700万円】 新規事業**  
 放課後児童クラブを設置するための工事費と備品購入経費。

なよろ市立天文台運営事業  
**【2703万円】**  
 4月に開館する天文台の運営経費794万円、維持管理経費1909万円(プラネタリウム館の経費を含む)。

《学校施設・設備整備事業》  
 東小学校屋体改築事業  
**【954万円】**  
 完了検査の手数料と備品購入のための経費。

大学評価事業  
**【418万円】 新規事業**  
 大学教育の充実のための、自己点検評価報告書(大学)、第三者評価(短期大学部)のための経費。

# ふるさと応援寄附、ありがとうございました

名寄市を愛し、応援しようとする個人または団体の方から広く寄附金を募り、これを財源として各種事業を実施し、寄附をされた方の名寄市に対する思いを具体化することにより、多様な人々の参加による個性豊かな活力あふれるふるさとづくりに資することを目的にスタートしたふるさと応援寄附。

平成20年9月の条例施行以降、平成20年度で20人、平成21年度では24人(2月末現在)の方から寄附をいただきました。誠にありがとうございました。

ます。今月号では、平成20年度でいただいた寄附金の使途についてお知らせします。

寄附金は、大学を活かしたまちづくりや4月に開館するなよろ市立天文台「きたすばる」で開かれる観望会の経費など、5つの事業の貴重な財源となりますが、事業別では左図のとおりとなっています。

今後とも、ふるさと名寄がさらに発展していくために、「ふるさと納税制度」による寄附という形でのご協力をお願いします。

## 大学を活かしたまちづくり事業 特別講義などの開講経費に65千円



## 天体観測を活かしたまちづくり事業 観望会などの開催経費に125千円

## 医療と福祉による安心して暮らせるまちづくり事業

保健指導の充実など91千円(医療)  
福祉団体などの活動推進92千円(福祉)



## その他まちづくりに必要な事業 広域行政などの推進経費に1,350千円

寄附金合計 1,723千円  
問い合わせ 市役所総務課  
01654 2111

ホームページ <http://www.city.nayoro.lg.jp>

# 風連特例区予算

風連地区の振興のために、「合併特例区協議会」の連携を深めるとともに、**事務事業の円滑な推進に努めてまいります。**

一般管理事業(特例区協議会など)	93万円
自治組織推進事業	
(住民自治組織再編移行支援補助金など)	276万円
自治活動推進事業(地域活性化事業への支援)	20万円
広報・ホームページ開設事業	2万円
利雪克雪事業	
(市街地国道道除排雪補助金)	386万円
NPOまちづくり観光及びイベント活性化事業	
(ふうれん白樺まつり、風連ふるさとまつり、ふうれん冬まつりなどへの支援)	868万円
都市交流事業(東京都杉並区との交流)	271万円
都会っ子交流事業(杉並区との子ども交流)	249万円
ふるさと会事業(札幌風連会、旭川風連会)	10万円
放課後対策事業(児童クラブ設置運営)	112万円
通学・通園事業(旭・西風連地区児童送迎・遠距離通学支援)	405万円
区域育英基金事業	973万円
河川・道路愛護事業	164万円
特定車両運行事業(大型バス運行管理)	344万円
地域施設管理事業	
(福祉会館など10施設の維持管理)	1125万円
合計	5298万円